

# スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の 箇所決定について

平成29年7月  
国土交通省  
道路局

平素より道路行政につきまして、多大な御支援、御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、別紙の通り、スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定いたしましたので、お知らせいたします。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ頂ければ、ご説明に伺わせていただきます。

問い合わせ先	
国土交通省 道路局 高速道路課 (直通)03-5253-8500	
高速道路課長	いせだ 伊勢田
企画専門官	かわむら 河村

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成29年7月21日

道路局 高速道路課

## スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定 ～高速道路の有効利用や地域経済の活性化に向けて～

国土交通省は、産業振興や物流の効率化等の効果が期待されるスマートインターチェンジについて、本日付で9箇所を新規事業化しました。また、新たに9箇所を準備段階調査を実施します。

### ○スマートインターチェンジの整備により期待される効果

- ・周辺の産業拠点から高速道路へのアクセス向上による、産業振興・物流の効率化 等
- ・隣接するインターチェンジや一般道路へ集中する交通の分散による、周辺道路の交通状況の改善 等

### ○準備段階調査について

スマートインターチェンジの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。

これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られることが期待されます。

- 別添①:スマートインターチェンジ新規事業化箇所一覧表
- 別添②:スマートインターチェンジ新規事業化箇所図
- 別添③:スマートインターチェンジ準備段階調査箇所一覧表
- 別添④:スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図
- 別添⑤:スマートインターチェンジの検討・整備について
- 別添⑥:スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

### 【お問い合わせ先】

国土交通省 道路局 高速道路課 柴田・金清

【代表】TEL 03-5253-8111 (内線38362、38353)

【直通】TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

# スマートインターチェンジ※1新規準備段階調査箇所一覧表

別添③

スマートインターチェンジの名称(仮称)※2	検討位置	路線名※3
わかば 若穂	長野県長野市	関越自動車道上越線(長野IC~須坂長野東IC間)
つくばみらい	茨城県つくばみらい市	常磐自動車道(谷和原IC~谷田部IC間)
しんが 下野	栃木県下野市	北関東自動車道(壬生IC~宇都宮上三川IC間)
はすだ 蓮田(フル化)	埼玉県蓮田市	東北縦貫自動車道弘前線(岩槻IC~久喜IC間)
じょうはな 城端SA	富山県南砺市	東海北陸自動車道(五箇山IC~福光IC間)
おかさき 岡崎阿知和	愛知県岡崎市	第一東海自動車道(岡崎IC~豊田東IC間)
とうら 東郷	愛知県日進市	第一東海自動車道(東名三好IC~名古屋IC間)
みやき 三木	兵庫県三木市	山陽自動車道(三木東IC~三木小野IC間)
あじか 味坂	福岡県小郡市、佐賀県鳥栖市	九州縦貫自動車道鹿児島線宮崎線(鳥栖JCT~久留米IC間)

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 未開通のICは仮称です。

# スマートインターチェンジの検討・整備について

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施(準備段階調査)。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。

